

第7回米原市定例教育委員会

日 時：平成28年7月21日
午後3時30分開会
場 所：山東庁舎 2階 2AB会議室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 本庄委員 近藤委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐

学 校 教 育 課：藤木課長

生 涯 学 習 課：丸本次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川副館長

書 記：澤

1 開 会

2 委員長あいさつ

みなさんこんにちは。先日梅雨も明けまして、いよいよこれから夏本番となるわけですが、ここ2、3日、特に今日は暑さの厳しい日となりました。みなさんもお仕事で大変な毎日だと思いますが、お身体を御自愛いただきたいと思います。

各校園が夏休みに入ったわけですが、無事1学期も終えていただいたことだと思っております。それぞれ各校園で子どもに関わっての指導は、十分にいろんな機会を捉えてやっていたいただいていると思います。単純に考えますと、日頃の子どもたちの過ごし方は当然のことながら家庭で過ごす時間が増えるわけですが、そうかと言って保護者の方の生活が変わるわけでもありません。幼児の子どもさんから小学生、中学生それぞれ年代別に考え方は違うと思いますが、少なくとも年齢が上がっていきますとそのあたりの時間をどう過ごすかということが大変ポイントになってくるのではないかと思います。後ほどオリンピックの話も触れたいと思いますが、今年はそういった年ですので、それも含め生活が少し乱れると言いますか、大人も含めて体調を崩しやすい年になるのではないかと思います。

特に、中学生あたりは計画性とそれに対しての自立と言いますか、自分に負けない、計画を頑張り通すといった面の指導がポイントではないかと思います。合わせて健康で安全な生活、休暇中の事故、外出時の事故がないようにいろんな機会に十分に指導もいただけたらと思います。

一方で、夏休みに入る中で保護者の方も、ちょうど保護者会も終わられたところだと思えますが、先ほど言いましたように勤務は変わらないけれど、親の方も子どもとともに夏休みを迎えるといった意識をしっかりと持ていただかないといけないと思えます。先日、家庭教育フォーラムも開催されましたが、そのような点から考えますと夏休みにあたっての親子での約束と言いますか、一日一緒にいなくても、帰った時の子どもへの声かけや、親子で何かを作るとか、育てるとか、書くといったこと、それはそれぞれの家で工夫していただければ良いと思えますが、ぜひそのような試み、小中学時代に親子で何かを一緒にやったという子どもの心に残る試みを夏休みにされると良いと、私はそんなことを思えます。

一方、先生方は当然のことながら勤務日となります。これも既に御指導いただいているかと思えますが、勤務の対応等につきまして明確に管理職の先生方は指導をいただきながら不祥事等の問題が起こらないように、何かの機会に御指導いただけたらと思えます。普段もやってもらっていますが、このような機会に管理職の先生方は、月に1回くらいは、たとえ10分、20分、雑談でも良いので事務の先生や校務員の先生などを含め全職員の方と1回くらいは話をされる機会をぜひ持ってほしいと思えます。

そのような中で、ややもしますと過ぎたことは忘れがちになりますので、1学期の振り返りもしっかりやってほしいと思えます。1学期の間に起こったことを振り返り、いじめの事案はどうなったかなど、やはりどの学校でも気になることが何らかあるはずですので、組織としてしっかり職員会議や研究会等で振り返っていただきたい、2学期につないでいただけたらという思いです。

2週間後になってまいりましたリオオリンピックが、いよいよ始まります。毎日、日本選手団もリオへ向かっているという時期になってきました。それぞれテレビなどで応援しようという計画を立てておられる方もいらっしゃると思えます。先日、7月9日に市で壮行会を盛大にやっていただきました。担当課の方、大変御苦労さまでした。ホールもいっぱいとなり、あの日参加されたみなさんは、スポーツは良いものだと言いますかスポーツの力を感じられたと思えます。私もあのような場に出させていただき、二人の選手の素晴らしさを改めて感じさせていただきましたし、逆に参加した者に力や感動をいただいたという思いしております。委員のみなさん、御参加されたみなさん、大変御苦労様でした。米原市からお二人もオリンピックに出られるということはなかなかあることではございません。山東庁舎や伊吹山中にも垂れ幕など、あちらこちらで掲示していただいています。何はともあれ、元気に、試合におきましても持てる力を十分に発揮いただいて、素晴らしい思い出を持ち帰りいただけたらと期待しています。あの時の二人の選手のスピーチで、西村さんの方は新聞にも載っていましたが、「私が今日あるのは米原のお陰で、ホッケーの基本は、米原で育てていただいた」といった意味の話をされていました。清水さんの方は、「このオリンピックの機会にホッケー競技人口がさらに増えればありがたい」ということをおっしゃっていました。いろんな場をくぐってこられたのでしょね、あのような場で自信を持

ってあれだけ立派なスピーチをされ、関心、感動を致しました。お二人のスピーチが大変素晴らしかったなという思いで聞かせていただきました。日の丸の旗の寄せ書きで最後に伊吹山中学校の生徒と元校長の鈴木先生の出番も作っていただきました。教育関係者から見ると、そういう方の出番を作ってもらえると、ホッとするわけです。ぜひ、帰国された後も結果はどうであれ、そういった体験をあの二人は伊吹小と伊吹山中の卒業生ですので、学校の方でもいろんな機会にアタックされると思いますが、何らかの形で今の小中学生に出会える場を設けていただければ幸いです。無理かもしれませんが、何かメッセージでも良いので、子どもたちにお土産話を伝えていただくと良いのではないかと思います。いよいよ4年に一度のオリンピックということで、私自身も4年前を思い出して楽しみにしているわけですが、身体を壊さない程度に応援をしていければ良いなと思っております。本日は第7回ということで、大変御苦勞様です。よろしく申し上げます。

3 会議録承認

6月定例会議事録 承認

4 教育長報告

【山本教育長から報告】

今ほども委員長からお話がありましたとおり、今日から夏休みがスタートということで、中学校は今日、明日と中体連のブロック予選があり、米原市内では女子のバレーボールが大東中学校で、男子サッカーが米原中学校で、卓球が双葉中学校の双葉総合体育館で開催していますので、私も少し見学に行つて参りました。あとは彦根、長浜と合同でのブロック予選をやっていますし、陸上競技は通信陸上大会をやつて、県大会が7月の28、29日と聞いております。

夏休みが始まりましたが、子どもたちが出回っているという姿は試合くらいで、小学生を外で見かけるということはあまりありませんでした。長い休み期間ですが、私は校園長会で、特に小学生向けに出来るだけ自然体験にたくさん出るような話をしてあげてくださいと言ってきました。市内で冒険遊び場の開催もありますので、それも意識しながら出来るだけ自然体験をしてほしいという呼びかけとお願いをしました。そして夏休みに出来るだけ補充学習もやってあげてほしいということも言うておきましたので、それぞれでまた頑張ってくれるかなと思っています。

この1か月間で大きなものは、先ほど委員長からも出ましたリオオリンピックに出場されます選手の壮行会を行いまして、1時間程度でしたが会の進行も含め長くもなく短くもなく、盛り上がりのある会を運営していただいたなと思っていますし、来ていただいた方も非常に喜んでいただいたのではないかなと思っています。8月7日にパブリックビューイングということで、夜11時から日本とインド戦をジョイいぶきで生放送で見られるような段取りを今組んでおりますので、可能であればまた参加もしていただき

いなと思っています。

7月13日に都市教育長部長会がございまして、滋賀県の都市教育長会として県にどのような29年度に向けて要望をするのかといった協議をしました。特にその中では、組織をあげて国に学校環境改善交付金あたりの予算をたくさん取っていただけるように要望していきましようということも出ておりましたし、給付型の奨学金の制度化もそろそろお願いしたいということ、そして米原市としては、就学前の保育園、幼稚園、認定こども園を管轄する窓口の一元化も要望してきたところです。そして、国体に向けた整備に向けての県の方針、指導者の配置等もお願いしたいといった要望をその場を出し、また組織として要望していただくということです。米原市単独の県要望につきましては、庁舎内で取りまとめをしまして8月4日に県要望に行く予定です。

それから今、決算審査をしていただいております、教育部の決算審査を終えたところです。今後配慮すべきことも聞いておりますので、決算審査で出た意見もふまえて対応してまいりたいと思っています。

全体としてはそういったところですが、教育総務課におきましては、第4回の教育振興基本計画の審議会を6月29日に行いました。多くの意見も伺っておりますし、また8月中旬に第5回をやっていると思っております。(仮称)まいばら認定こども園の設置協議会第1回を6月27日に行い、スタートしました。これから28年、29年にかけて新たなこども園のあり方を検討いただく会が開催され、明日の夜も第2回があると聞いています。工事関係では、柏中のエレベーターやパソコン、グラウンドの関係の入札もしていただいておりますし、先日は長寿命化計画策定に向けて奈良県の橿原市へ先進地視察に行っているところです。

学校教育課につきましては、夏休みに入る前に校長と面談をしました。私と学校教育課長が入って、各校長の自己目標シートの確認等もさせていただきました。その時に学力向上に向けた補充学習の事もお願いしたところです。あと、ALTがこの7月下旬で2人帰国し、また新たなALTが2人着任します。大原小学校の図書館大改造も6月の下旬に行いました。その時に県の教育長も来られまして、米原市の子ども読書の推進に関わる取組を説明させていただき、図書館大改造の引き続きの予算化もお願いしてきました。本日の報告にもありますように、不審者の事案が6件ほど出ておまして、ほとんどが近江地区でございまして。軽トラのある成人(年配)が声をかけているということで、パトロールを強化していただき、最近はそのような事も聞いておりません。8月19日に教育センターの全員研修がありますので、またみなさん方にも参加してもらえればと思います。

生涯学習課におきましては、先日家庭教育フォーラムを開催しました。もう少し人が集まってくればというところでしたが、逆にそれなり的人数でグループワークが出来て、たくさんの意見も出ましたので良かったかなと思っています。来年度はリーフレットもカレンダーを交えたものに作り直しますので、出た意見をふまえ、今後各学校園で

家庭教育フォーラム的なものを作ってほしいという願いをしようと思っています。

ルッチでは、ルッチカーニバルをやっていただき、ゆっくりマルシェでは米原のたぐさんの店舗も出店され盛大にやっていただきました。また多文化共生協会との合同開催ということで非常に良かったと思います。例年この時期にやるということが定着するとまた賑わいも出てくるかなと思います。スポーツ推進計画の審議会、いきいき健康ウォークの実行委員会等も進めてもらっています。8月下旬の夢高原かっつび伊吹も1,300人を超えるエントリーがあったというところで、今年は青山学院大学の箱根駅伝で優勝した原監督に来ていただき、スターターをやっていただけると聞いています。また、はにわ館では、下倉棋世画伯の企画展を8月16日までやってもらっています。

歴史文化財保護課におきましては、柏原宿歴史館の谷口館長の方でミニ企画展をやっていただき、また、夜学（やがく）というものもスタートしてもらっています。第1回も約30人が来ていただいたということで、また歴史館にも足を運んでいただけたらなと思います。7月30日の夜には、やいと祭が柏原でございます。その時には、このミニ企画展として7時から8時30分まで、佐和山城と石田三成の講話を谷口館長にしていただきます。今注目の石田三成ですので、良かったらお出かけいただければと思います。出前講座や歴史文化財講座等も歴史文化財保護課の方でやらせていただいていますし、伊吹山テレビでも歴史のユニークな企画をやっていただき、見応えのある話になっていると思います。

学校給食課におきましては、6月30日に今年度第1回の学校給食運営委員会を開催いただきました。1学期の給食が終わりました。最初に異物の混入等もありましたが、安全・安心な給食の配食をしていただき大変喜んでおります。今年度は8月30日から給食が始まるとうことで御苦勞を願いますが、よろしくお願ひしたいと思います。その他、食に関する指導、親子料理教室等、施設の活用も含めてやっていただいているところです。

図書館につきましては、中学校の職場体験の受け入れをやっていただき、子どもたちも大変やりがいを感じてくれているのではと思っています。夏休みの企画ということでスペシャルおはなし会もしていただき、私も見学に行きましたら子どもさん連れのお母さん方もたくさん来ていただき、盛況であったと思っています。はにわ館のリノベーション会議では、より良い方向で、はにわ館をリノベーションしましょうといろいろな御意見もいただきましたので、その取りまとめをして今後設計の方に向けていきたいと考えているところです。

以上、全体と各課に関する私が把握しているところの報告とさせていただきます。足りない部分は各課長から付け足して報告をお願いしたいと思います。

委員：ありがとうございます。それでは今説明いただいたこと、あるいは他のことでも結構ですので委員のみなさんから何かございませんか。

委員：教育総務課の方で長寿命化計画という話がありましたが、具体的にはどういったことなのでしょう。

事務局：学校施設ですね。

事務局：今、耐用年数が大体 60 年というような中で、それを 80 年、100 年と伸ばしていこうということで、途中で長寿命化の改修を 40 年くらいに行って、寿命を延ばそうと、計画的に整備していこうかという計画を立てるということです。

委員：その計画を立てることで何か変わるものなのですか。

事務局：改築よりは若干コストが下がって、建て替えしているのと同じような効果があるということです。

委員：榎原市というのは先進地なのですか。

事務局：榎原市も今計画を作っている段階で、米原市の方が半年くらい遅れているくらいですので、状況を伺いに行ってきました。

委員：限られた予算の中ですので、出来るだけ有効にお願い出来ればと思います。文化財の方で関ヶ原との交流も根についてきたかなと思いますが、行政の方では何か提携とかしているのですか。

事務局：今年、市長と関ヶ原の町長と政策関係、商工観光関係で合同会議をして、今後の連携で、お互いの歴史あるものを上手く観光等に生かそうといった話をされたところなんです。

事務局：7月5日に関ヶ原町と米原市の行政の会議、交流会ということで開催されました。単に滋賀県の東の端、岐阜県の西の端というだけでなく、それぞれ隣同士に位置しますが違う文化もあれば共通する文化もありますので、お互い理解しながら上手くPRし、この地域がつながることで全国的に発信できることはないかといったような会を今後も積み重ねていこうというところです。最初は行政が顔合わせをしましたが、最終的には民間や地域の人たちのつながりが大事になりますので、そういったところも合わせてこれから活動していこうという第1回の打ち合わせでした。

委員 : 文化の違いというのはいろいろ面白いもので、食文化等、米原でないといけないようなことだと思いますので、焦点を当ててやっていただけたらと思います。

委員 : 息長小学校で、毎年伝統的な相撲大会が実施されていますが、今年度は9人の力士さんを迎えての様子を学校便りで拝見いたしました。小学生から見ると力士は非常に大きいですし、迫力もあって本当に感動したのではないかなと思いました。それに合わせてオリンピックの壮行会では、素晴らしい選手を前にして、子どもたちもこれからの目標になり励みになったと思います。どの道を進むかはそれぞれ違うと思いますが、選手の言葉が心に響いて各自の道を歩んでくれることと思います。

事務局 : 近交運輸の倉庫が横綱白鵬などの練習会場となっていたということで、たくさんの方が参加されていました。その一環として長浜小学校にも行かれたそうですし、息長小学校にも来てくれました。保護者や地域の方がたくさん来て本来の子どもとのふれあいに支障をきたすといけないため、内緒にしたままで来ていただいたので子どもたちも白鵬が来てびっくりして大変喜んでいました。子どもたちと相撲をとったり、先生方も力士に向かっていったりと非常に良かったなと思います。

委員 : 不審者が大変多かったので防犯ベルを持たせるかどうか悩んだのですが、持たせると持たせるで、また遊んだりしますし。周りには持たせている人はあまりいないのですが、市では貸し出しなどされているのでしょうか。不審者に対して親も気をつけないといけないと思っていたのですが、どこをどのように気をつけたら良いのか。2、3年生にもなると一人で公園に遊びに行ったりするので、「行く時は声をかけて」と言っているのですが、どのように気をつけたら良いのかなという思いがあり、周りのお母さん方とも話していました。今日から学童に通わせているのですが、学童では毎週木曜日はお弁当なしの日を作っていただいているのですが、親としては大変助かっています。学童の人数も多いので先生方の準備がとても大変だろうと感じています。ラジオ体操は、昔は毎日あったと思います。今は、始まりの10日と終わりの1週間だけとなっていますが、ラジオ体操があると子どもも朝は張り切って行くので助かっています。

事務局 : 防犯ブザーの件ですが、確かに一時不審者が出た時には学校のPTAの予算でいくつか買って必要な人には申し出により貸し出しをしていました。そのような一つの流れがある中で収まってきて、結局使わなくなっていくということがあります。今日も話があったのですが、防犯パトロール隊の方から、出来れば小学校1年生の入学御祝いに予算化して防犯ブザーを配布できないかという要望を挙げ

ようとしているという意見を聞いてきました。防犯ブザーを持てば持ったで授業中に少し遊んだりということが出てくることもありますので、こちらで審議しながら、このような時代なので入学御祝いとして防犯ブザーを配って、本人の意識化、あるいは親の意識化も含めて親も気をつけてくださいねというPRにもなるかなと思いますので、今後議論をしていきたいなと思います。また意見があれば出していただきたいと思います。学童の問題については、夏休みになると急に人数が増えてスペースが狭いという問題もありますが、指導していただく方も大変だなと思います。その辺は、市としても十分な体制整備が必要かなと思っています。

委員 : 防犯ベルは今も話がありました、伊吹小で鈴を渡した年がありますね。下校時にカバンに付けていたこともありましたが、資料を見ると坂田小学校、近江地域での不審者が多く、全て警察に連絡いただいています、警察もパトロールをいただいているのですか。

事務局 : はい。やってもらっていますが、なかなか不審者が捕まらないようです。子どもたちの情報で車のナンバーを言ったみたいですが、長浜・米原ではそのようなナンバーの車がないということで、子どもの記憶ですのでそれが正しいか断定は出来ないのですが。

委員 : 声をかけられた時、子どもは一人だったのか、何人か集団で帰っていた時なのかが分からないのですが、学校で指導する時は一人で帰らないようにとか、一人の時は大声をあげてとか、よく警察でも安全のための講習会をやったとか新聞に載っていますが。例えばどんな時でもグループで下校するとか一人で帰らない等、学校は学校で、保護者は保護者で指導してもらい、保護者へこのような事案があるから気をつけてくださいというようなチラシを学校で作って保護者がどうしたら良いのかというその辺りも含めた試みも、ぜひ2学期から各学校に御指導いただけたらと思います。

事務局 : 声をかけられたのは、いずれも一人で下校している時です。集団では帰っていますが、あるところからは一人になるので、その辺りでということだと思います。

委員 : 一人の時ですか。では、一人の時はどうするのかということですね。気になる事案で、何かあれば大変ですので、よろしくお願ひしたいと思います。ラジオ体操の話を保護者の立場からお話いただきましたが、私たちの地域でも今日から同じような形でやっていました。最初と終わりだけで、多分どこもそのような形でや

っているのでしょうかね。

事務局 : 今は、最初の 10 日間か 1 週間になりましたね。昔はお盆くらいが休みで、あとは全部ありましたけど、これは自主的な活動ということで子どもたちが頑張ろうとか、あるいは地域でどのようにこれから関わるのかがこれからポイントかなと思います。子どもがしている話なので関係ないという大人でいるのか、地域ぐるみでこの時期は大人も参加しようという雰囲気が盛り上がってくるのか。昔は字で放送して、字ぐるみで一緒にやっていて、6 年生の児童の代表が当番となって朝の放送をするといった地域力もありましたので、そのように展開出来ると高齢になって家におられるたくさんの方々も参加できて良いかなと思います。

委員 : 地域をあげて子どもと助け合うと言いますか、非常に良い話を聞かせていただきました。そのあたりも情報を入れていただいて、また紹介いただければと思います。

5 議案審議

議案第 4 2 号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】

○白谷仁子ソプラノリサイタル SONEET～ひとり芝居

委員 : 白谷さんにつきましては、みなさん御存知で、あちらこちらで活躍いただいておりますが、会場がルッチではなくびわ湖ホールということで、このあたりはどうなのでしょうかね。県への後援依頼等は、これからされるのですか。

事務局 : チラシの案を持って回られている状況で、まだ県への依頼をされたかは確認できていません。本来の内規によると地域的に離れていますので、対象に出来るのかどうかを内部で議論はさせていただいたのですが、市の方も参加されますので、ぜひ承認をいただければと思います。

事務局 : よそでこのようなことをされる時に米原市が後援に入ることはあまりないですね。

事務局 : はい。ありませんが、地元出身の方があちらでされるので、米原市の PR も兼ねて周知できればと思います。何とか後援させていただけたらなと思います。

事務局 : ひとり芝居が教育的に非常に価値ある、意義あるものとして認められるかどうかも一つかなと思います。会場が大津ですが、これが米原でもやってもらっていて、ものすごく価値あるものと認めるのであれば、内規の「その他必要と認めるもの」という中での範囲でもあるのかなと思います。どこまでの範囲として認めるのか、後に波及する場合もあるので、そのあたりどこで線引きをするのかですね。昨年、読書の成果報告会で白谷さんがこうゆう活動を子どもたちと保護者でやったという報告をされましたが、それと同じようなものなのですか。

事務局 : 朗読やボランティア交流会等で御指導いただいている中で音楽だけではなく、言葉とか朗読、読み聞かせの部分も含めて御指導いただいているところです。

事務局 : 昨年の発表はそうでしたね。朗読で言葉を、写真を見て言葉を選んでいくという
ような話でしたね。そのような活動の一環として米原市に貢献度が高く、教育的
に価値があるというところで、主催は個人的な企画であってもそのように見るか
どうかといった話かなと思います。

事務局 : 中身的には、この間ルッチでやられたことと同じで、朗読されて歌を歌われてみ
んなが静かに聞いて感動されているというようなものです。その会場が変わった
ということで御判断いただけたらと思います。

事務局 : 原課としては、地元で根ざした活動をしていただき、教育的価値もあるので、米
原市が後援をということですね。

委員 : チラシに白谷さんが米原の人だということを入れるとか、実際にコンサートの時
に地元で活動され、活躍されているということを必ずアナウンスに入れてもら
うとか、びわ湖ホールを使用されるということは県レベルなので、県の後援等が得
られるかどうか、そのようなことも話題になったことを伝えていただけたらと思
います。

事務局 : 活動拠点が米原市だということで、米原市という文言をチラシに入れられたらと
いうことですね。

委員 : 今回については、そのようなことが話題になりながら承認いたしますが、今後に
ついては、近隣のところで開催されるものといった内規の部分も触れていただき
ながらすればいかがでしょうか。

事務局 : チラシを見て、米原の人だということで米原市につながれば良いと思います。

委員 : では、そのようなことで承認ということとします。今後のこともあるので、白谷
さんにはその旨伝えていただければと思います。

条件付きで原案承認

議案第49号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】

○第51回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会

原案承認

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援・共催）について

○平成28年度 滋賀県第5ブロック学校保健研究大会 【学校教育課】

○MOA美術館湖北児童作品展 【学校教育課】

○第3回「かもの里」親善ゲートボール大会 【生涯学習課】

○平成28年度文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」 【生涯学習課】

滋賀県次世代創造発信事業 芝居小屋「長栄座」

(2) 米原市総合学力調査結果(速報)について 【学校教育課】

委員 : 学習力というところにひっかかったのですが、学習の上での学級力とは具体的にどういう形になりますか。

事務局 : 話し合い等です。今言われているアクティブ・ラーニングなどに取り組んでいけないといけないのですが、対話力が十分に身につけていないというのが今回の結果で少し見えてきました。

委員 : 取り組んでいる学校と取り組んでない学校があるのですか。

事務局 : どの学校でも取り組んでくださいということは言っていますが、特に河南中学校では、学級活動ということを教科ではないのですが学級での話し合いがスムーズに出来るような環境にしていくと授業でも十分話し合いや意見交換が出来ていくということで、その部分の研究をしてもらっています。

事務局 : 結局、授業の深まりが出来るかどうかは普段の学習規律も含めての学級集団力、それがものすごく大きく関わってくると思いますが、まずベースに学習規律があって、みんなで学ぼうという意欲があると対話力も弾みます。これがここでいう学級力です。

委員 : 学校というのは、ともに学ぶというか教えてあげる、教えてあげることによって力が付くので、学び合う力が必要。そういう土壌が普段のクラスの生活の中でないと。例えば、気楽に自分の思いついた考えを発表できる雰囲気のある学級と、そうでない学級があると、そうでない学級では教員の立場からすると授業に行ってもやりにくいということになります。
一つ話したら、どんどん話が出てくる学級だと授業はしやすくなるので、分かりやすく言えばそれが学級力です。普段から分からない子には教えてあげたり、助け合いの土壌が出来ている学級とそうでない学級では、やはり違うと思いますので、そのような研究を河南中学校がしてくれているらしいです。

事務局 : ここ数年ずっと、滋賀県もそうですが、市の学力状況調査では小学校の点数だけを見ると全国と比較すると点数が低く、中学校に行くと全国に近く

なるといった状況が続いています。そのため、もう少し小学校の低位の子のための補充をやるように言っているのですが、子どもたちの下校の問題や居残り学習が出来ないなどの問題がいろいろあるので、やはり長期休業中の時間がある時に普段学習についていけない子の底上げをしてほしいということを言っています。

委員 : 小学校で学力がD層の子は、中学校へ行ってもD層なのですか。

事務局 : ベースが出来ていないので、そうなりますね。5年生ですから、中学校に近い学年なのでかたまりつつあります。

委員 : 生活習慣も含めてということですね。

事務局 : そうですね。

委員 : ベネッセのまとめ方で毎年思っていますが、A～D層の25%ずつ、AからBを引いたら差が出るのは決まっている。ノーマルカーブで真ん中にして、ここここなら分かるのですが、25%とってきた時にノーマルカーブでない場合がありますよね、その割合の比較を見てA-B層が大きいとか小さいとかではおかしくないかなと思って疑問を感じているのですが。

事務局 : その問題については、個別指導が必要ですよと言うことが言いたいわけでしょうね。差が少なければ全体指導で上げられますが、差が大きいので全体指導では無理ですということで、だから補充学習で低層を上げなければいけない問題だと、そういうことを言われていたと思います。

事務局 : 詳細な部分は教育センターからベネッセに回答をもらっておきます。

委員 : 対角線の特徴を使って8センチメートルと6センチメートルのひし形を解答用紙に書くことが出来ないとありますが、これはひし形のイメージが分かっていないのか、対角線の意味が分かっていないのか。

事務局 : 対角線が分かっていないのだと思います。ひし形はある程度理解できると思うのですが。D層の子は、物を書く事や作図する事など、ある資料を一つだけでなく二つの資料をかみ合わせて答えをつくっていくというような複雑化したものは、その時点で問題に取り組まないという傾向の子が大

体です。

事務局 : 詳しい分析が出てくるとと思いますが、誤答なのか無答なのかは今の段階では分かりませんし、D層の子たちは全然やっていないのかもしれない。

委員 : 長文問題が出てくると、もうやめようとなるのかもしれないね。

事務局 : 条件に添って答えを導き出すようなことは、その時点で諦めてしまうレベルがD層かなと思います。

委員 : このように見ていると、A～Dの層はよいのですが、誤答に応じてこれはどのような指導が望ましいか、普段の授業がこうなってないかなとか、ぜひそのようにしていかないと結果だけを見て数字を追ってはいけないので、いわゆる分析もきっちりやっていただいた方がよいのではないかと思います。次の時を期待しています。

7 質疑応答

- 8 その他 都市連絡協議会 県内研修 : 10月21日(金) 湖南省
県外研修 : 11月17(木)、18日(金) 高知県
※詳細は後日決まり次第お知らせします。

9 閉会 次回

第8回定例教育委員会 8月22日(月) 午後3時30分～
山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって第7回定例教育委員会を午後5時12分に終了した。